

特集Ⅰ 作家と結婚

26

増田みず子 自由 27

佐伯一麦 二つの抹茶茶碗 31

楊逸 ヘミングウェイ結婚に求めたもの 36

見 島尾敏雄 石造りの街で 41

再作 幸田文 雛 54

名作 葉山嘉樹 出しようのない手紙 63

解説 「と」に潜むもの 富岡幸一郎 68

特集Ⅱ 吉行淳之介 生誕百年・没後三十年

鵜飼哲夫 平成四年の吉行淳之介―戦中少数派の晩年 73

加藤宗哉 やせ我慢と文章美学 79

野崎有以 血の赤、乳の白 83

―吉行淳之介『砂の上の植物群』における「血」の親密さ

勝又浩 五〇年めの吉行淳之介 89

名作再見 鞆の中身 93

大河内昭爾 没後十年

話す人・語る人・書く人 大河内昭爾さんの思い出 黒井千次 24

文科 「人に生かされている」 三浦清宏 6

赤い目をした猫 青野聰 8

予知 藤沢周 10

芦川いづみと文学者 倉田剛 14

直筆の文学資料を後世に 高橋真名子 19

日本近代文学館への高橋英夫旧蔵品寄贈について

赤松俊子・丸木位里と中国 鄭秋迪・溝井真人 230

創作 くすぐり 〈2〉 大道珠貴 100

金閣の建つ庭 二

華麗な日々と翳と 松本徹 111

W 坂 寺本親平 119

闇の中から 岩下壽之 130

草むしり 本間真琴 142

マグリット給水塔のある団地 草原克芳 149

逍遙する犬の夢 中野沙羅 191

同人雑誌季評

グジャラート指数で見えてくる現代日本の姿 河中郁男 250

記憶を捏造する 谷村順一 274

名作の舞台―記録と記憶⑮⑯  
坂口安吾『黒谷村』・犬童球溪「故郷の廃家」 清水節治 70

学界への窓 22  
さまよう猫たち 高岡啓次郎 223

文藝季評 45  
家と暮らしをめぐる物語 伊藤氏貴 245

連載 遠き日々 映る影たち〈4〉 柴田翔 197

大江健三郎氏・旧懐―記憶・追憶・幻想〈3〉、そして〈結び〉 柴田翔 201

明日行灯〈5〉  
黄金の島の演劇祭 麻田実 204

海の詩学―三島由紀夫〈12〉  
空白の一年間―「彩絵硝子」と「花ざかりの森」のはざままで 鈴木ふさ子 209

大倉山から 18  
「反小説」の企ても『鏡子の家』―アメリカ滞在、そして結婚…… 松本徹 281

砦

松本 徹 99 勝又浩 23・297

同人雑誌および本誌会員から  
同人雑誌の可能性 児島成 248  
フィードバックを手がかりに  
会員規約 298  
今号の執筆者 299  
編集後記 300

今号の中沢けい「中上健次と韓国」、勝又浩「道元」「正法眼蔵」の宇宙と人間は休載となります。

# 季刊文科 95

鳥影社